

鹿児島広報2023-4608

2024年2月21日

【調査結果】乗車中、「ロードキルの危険性」を感じた人は43% 環境省と協同し、ロードキルに関するアンケート調査を実施

JAF鹿児島支部（支部長：石原 一智）は2月21日（水）、JAFホームページにて実施していた「奄美の野生動物の交通事故（以下、ロードキル）」に関するアンケート調査の結果を発表しました。

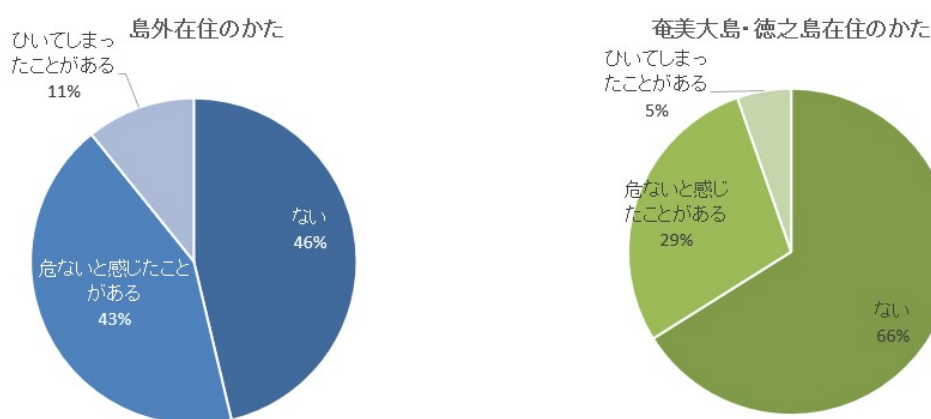
奄美大島の希少動物である、アマミノクロウサギのロードキルが近年増加しています。JAF鹿児島支部では昨年よりアマミノクロウサギなどの奄美群島の希少な野生動物や自然を保護するために設置された「奄美野生動物保護センター（環境省）」との協同でロードキルを減らす活動に取り組んでいます。今回、その活動の第一歩として「ロードキル」に関する実態を知ることがを目的に「運転に対する意識」や「どのような状況でロードキルが起りやすいのか」など、ロードキルに関するウェブアンケートを実施しました。

調査概要

- 調査方法・・・インターネット（JAFホームページ「ご当地情報 鹿児島」）
- 調査期間・・・2023年11月1日（水）～12月31日（日）
- 調査対象・・・奄美大島・徳之島在住のかた・島外在住のかた
- 調査人数・・・7,828名（奄美大島・徳之島在住のかた168名 島外在住のかた7,660名）

調査内容および結果のまとめ

Q1. 運転中（または同乗中など）に、野生動物が道路に出ていて危ないと感じたり、ひいてしまったことはありますか？



- ① 「野生動物が出てきて危ないと感じたり、実際にひいてしまった」経験のある方が奄美大島・徳之島在住では34%、全国では54%もいることがわかりました。

Q2. ロードキルは、ドライバーが気をつければ良いと思いますか？それともフェンスやアンダーパスなどの道路の改良が必要だと思いますか？

- ② ロードキルを防ぐためには、「ドライバーが気をつける」「道路改良」が島外者は半々の結果
→島外在住のかた

「ドライバーが気をつければ良い49%、道路の改良どちらも改善が必要50%」

→奄美大島・徳之島在住のかた

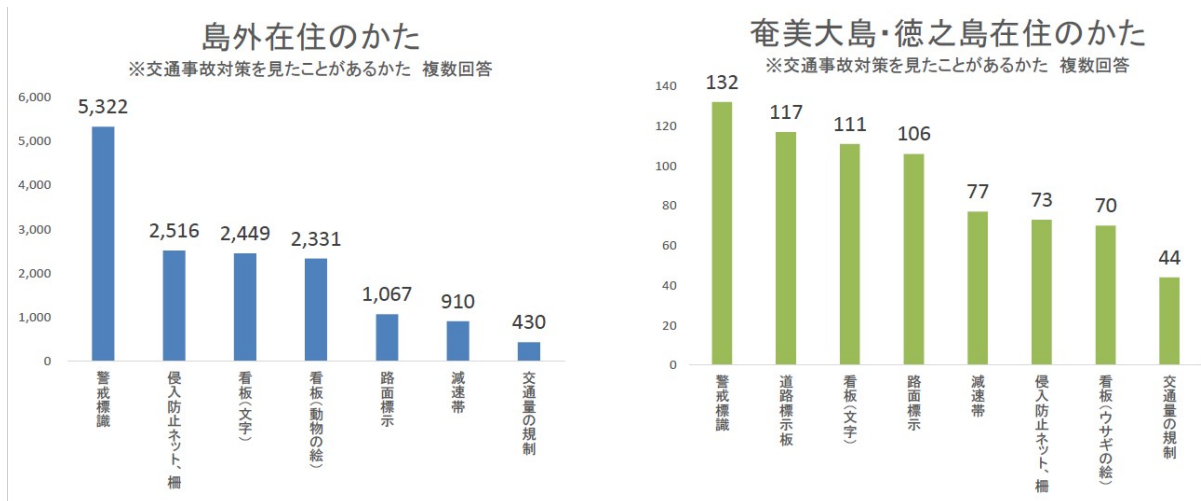
「ドライバーが気をつければ良い55%」「道路の改良どちらも改善が必要38%」とドライバーの割合が大きい

② ロードキルを防ぐために、今後やってみたい・続けていきたい対策は島外者、奄美大島・徳之島在住者ともに「減速」

④奄美大島・徳之島在住のかたが考えた1番のロードキル防止の対策は「減速帯の設置」

1番有効だと思う対策	回答者数	割合
減速帯	31	18.5%
ウサギが道路に出てこないようにする	30	17.9%
アンダーパス(陸橋や暗渠など道路の下に動物の通り道をつくること)	21	12.5%
交通量の調整(ゲート設置や地域独自のルールづくりなど)	18	10.7%
警戒標識	17	10.1%
看板(ウサギの絵)	16	9.5%
その他	14	8.3%
道路標識	8	4.8%
オーバース(トンネルのように頭上に動物の通り道をつくること)	7	4.2%
看板(文字)	6	3.6%
合計	168	100.0%

⑤島外、奄美大島・徳之島ともに見たことがある交通事故対策は「警戒標識」



今後の取り組みについて

奄美大島・徳之島では、ロードキルの発生件数が過去最多を更新しており対策が必要です。

このアンケート結果を踏まえ、JAF鹿児島支部では、環境省 奄美野生生物保護センターと協同でロードキル減少につながる活動を更に推進してまいります。

※調査結果の詳細はJAF鹿児島支部ご当地情報でご覧いただけます。

<https://jaf.or.jp/common/local/kyushu/kagoshima>



このリリースへの問い合わせは以下までお願いします。

一般社団法人 日本自動車連盟 鹿児島支部 推進課 担当：原山・山口
 〒890-0072 鹿児島県鹿児島市新栄町2-12
 Tel: 099(284)0007 月~金曜日 10:00~17:00
<https://jaf.or.jp/media>

